



シルバーニュース

～ 家族の絆でニセ電話サギから守る ～

高齢者被害の**架空料金請求詐欺**が多発！

事例（県内居住の79歳男性）

男性が自宅において、パソコンでインターネット（ニュース）を見ていたところ、突然、パソコンから**警告音**とともに、画面に「ウイルスに感染しました。〇〇サービスに電話してください。050-〇〇〇〇-〇〇〇〇」が表示されました。

男性があわてて表示された電話番号に電話したところ、**片言の日本語を話す外国人風**の「マイクミュラー」と名乗る犯人が電話に出て、「あなたのパソコンがウイルスに感染している、IPアドレスが盗まれる。」「対処するためのサービスがある。」などと言われ、サポートサービスを依頼したところ、代金として5万5,000円分の**電子マネーカードをコンビニエンスストアで買ってくるよう**に言われたのです。

そうして、男性は犯人から言われるがまま、コンビニエンスストアで電子マネーカードを購入し、犯人に電子マネーカードの認証番号を教えてしまいました。

しかし犯人は、「認証番号が違っているので無効です。購入代金は現金書留で自宅に送りますので、カードを買い直してください。」などと繰り返し言って、複数回にわたって男性に電子マネーカードを買わせ、認証番号を聞き取って、電子マネーカードの利用権をだまし取ってしまいました。

ニセ電話サギの対策

要注意ポイント

警告音とともに「パソコンがウイルスに感染した」などと驚かせたり、個人情報盗まれるなどと不安感をあおり、冷静な判断ができない状態で電話させます。また、犯人が「認証番号が違っている。購入代金を返金する」などと言うのは、何度も買わせるための嘘です。

被害を防ぐためのポイント

有名な企業名をかたり、「ウイルス除去費用」「サービス加入費用」などの名目で、コンビニエンスストアで電子マネーカードを買わせることは絶対にありません。

「電子マネーカードを買ってきて」は**詐欺**

茨城県警察
公式アカウント



YouTube
動画と音声で
わかりやすく情報を提供



twitter
迅速に警察情報を
発信、拡散



Instagram
親しみやすい
警察コンテンツを発信



いばらきポリス
Android端末
iOS端末
安全安心を守る
オールインワンアプリ

